

2011 年 6 月 30 日

損保系初「ISO 26000 に基づく CSR 経営戦略策定コンサルティング」の提供開始

NKSJ グループのリスクコンサルティング会社である NKSJ リスクマネジメント株式会社（以下「NKSJ-RM」、代表取締役社長：石川 秀洋）は、7 月 1 日から、ISO 26000^(*1) に基づく CSR 経営戦略策定コンサルティングの提供を開始します。ISO 26000 に基づいた CSR（企業の社会的責任）に関するコンサルティングとしては、損保系コンサルティング会社としては初となります。

*1 社会的責任（Social Responsibility：SR）に関する国際規格（2010 年 11 月発行）

1. 背景

2010 年 11 月に組織の社会的責任に関する国際規格である ISO 26000（以下、ISO 26000）が発行されました。この発行に伴い、CSR 推進に積極的な企業においては、ISO 26000 に基づき、既存の取り組みや課題を整理する動きが出始めています。今後、国内外の企業において ISO 26000 に基づく CSR の取り組みが浸透していくことで、ISO 26000 が CSR のソフトロー（拘束力が緩やかな共通規範）として、企業経営に影響してくることが予想されます。

NKSJ-RM は、このような企業の動向をふまえ、ISO 14001 などマネジメントシステム構築の一環として既にも実施している CSR マネジメント態勢構築支援の実績や、CSR および SRI^(*2) に関する研究成果をもとに、「ISO 26000 に基づく CSR 経営戦略策定コンサルティング」の提供を開始することとしました。

*2 Socially Responsible Investment の頭文字をとった表現であり、日本語では「社会的責任投資」と訳されている。

2. 本サービスの概要

本サービスでは、以下の 5 種類のメニューを提供します。なお、本サービスの全体フローは、参考資料「2. 本サービスのフロー図」をご参照ください。

メニュー	サービス内容	期間 ^(*3)
		費用（税抜） ^(*4)
1.CSR 現状分析 （診断結果レポート作成）	NKSJ-RM が独自に開発し、駿河台大学の水尾教授に監修いただいた、ISO 26000 に基づく「CSR 現状分析シート」を用いて、企業の CSR に関する現状の取り組み状況と ISO 26000 において推奨されている取り組み事項を照らし合わせて診断します。	10 日程度
		15 万円程度

2.マテリアリティ分析	企業における持続可能性の観点から取り組むべき課題の重要度（企業としての重要度）やステークホルダーが企業に期待する取り組み課題の期待度（ステークホルダーの期待度）などをふまえて、企業をとりまくさまざまな課題をマッピングし、企業にとっての重要課題（マテリアリティ）の抽出を支援します。	1～3 か月程度
		50～100 万円程度
3.CSR 行動計画策定	CSR 現状分析やマテリアリティ分析の結果、理念やビジョンとの関連性、業界動向等をふまえて、企業が優先的に取り組む重点課題を明確化することで、CSR 戦略や CSR 行動計画の策定を支援します。	3～6 か月程度
		200 万円～
4.CSR マネジメント	CSR 経営戦略を確実に推進・実践するために、CSR マネジメント態勢の構築を支援します。	3～6 か月程度
		200 万円～
5.個別課題解決支援 ^(※5)	CSR 経営を推進するために必要な個別課題（全社的リスクマネジメント（ERM）危機管理対応、苦情対応、コンプライアンス、カーボンマネジメント、生物多様性保全等）の解決を支援します。	個別見積にて対応

*3 *4 CSR 推進状況、ISO 14001 等のマネジメントシステムの導入状況、組織規模、業種形態などによって異なります。

*5 支援内容によって期間や費用は異なります。

3. 受注目標

本年度 10 件、売上げ 3,000 万円の受注を目指します。

4. 今後の展開

NKSJ-RM は、リスク管理体制や危機管理体制構築支援、地震や新型インフルエンザに対応した BCP 策定などの事業継続管理体制構築支援、ISO 9001 や ISO 14001 といった国際規格の認証取得支援などのコンサルティング・サービスを通じて、企業における経営課題の解決を支援してまいりました。

今後も、さまざまなサービスを提供することによりお客さまの企業価値向上と持続可能な社会の実現に貢献します。

NKSJ リスクマネジメントについて

NKSJ リスクマネジメント株式会社は、株式会社損害保険ジャパンと日本興亜損害保険株式会社を中核会社とする NKSJ グループのリスクコンサルティング会社です。全社的リスクマネジメント（ERM）、事業継続（BCM・BCP）、火災・爆発事故、自然災害、CSR・環境、セキュリティ、製造物責任（PL）、労働災害、医療・介護安全および自動車事故防止などに関するコンサルティング・サービスを提供しています。詳しくは、NKSJ リスクマネジメントのウェブサイト（<http://www.nksj-rm.co.jp/>）をご覧ください。

サービス内容に関するお問い合わせ先

NKSJ リスクマネジメント株式会社 研究開発部 [担当：山本、福渡]
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル
TEL：03-3349-6828（直通）

報道機関の方からのお問い合わせ先

NKSJ リスクマネジメント株式会社 経営企画部 [担当：田所]
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル
TEL：03-3349-5102（直通）

以上

(参考資料)

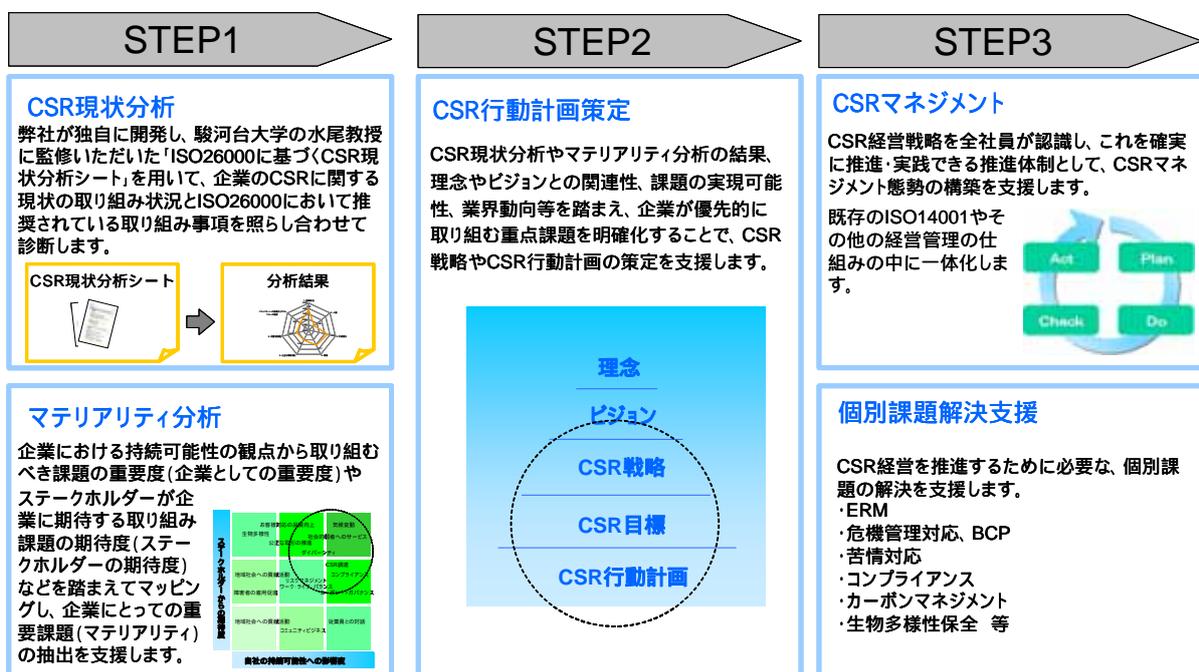
1. ISO 26000 発行の背景

グローバル化が進捗し、企業活動や市民の生活において、国境を超えた相互依存が強まるなか、気候変動、生物多様性、貧困、人権といった、1つの国や1つのセクターだけでは解決できない課題の解決のため、企業が積極的に課題解決に取り組むことが求められています。そうした社会環境のもと、国際的なルールの1つとして発行されたのが、ISO 26000 です。

ISO 26000 は、ISO 9001 や ISO 14001 といった認証規格ではなく、持続可能な発展への貢献を促すためのガイダンス文書(手引書)です。したがって、第三者認証や自己適合宣言が必要となる規格ではありません。

しかし、ISO では初めて、マルチステークホルダーによる議論を通じて策定されています。政府や産業界の合意も得ていることはもちろん、途上国も積極的に策定に参加しており、途上国は自国の人権、労働、環境といった課題解決に活用する方向性にあります。そのため、今後、CSR のソフトローとして影響する可能性が高いと考えられており、特に海外進出企業や下請工場が海外にある企業などは、ISO 26000 を意識した経営を行うことが必要となってきます。

2. 本サービスのフロー図



3. 監修者プロフィール

水尾 順一（みずお じゅんいち）

駿河台大学経済学部・同大学院経済学研究科教授、博士（経営学）、東京工業大学大学院兼任講師。研究分野はCSR経営倫理論、マーケティング（ブランド）論、コーポレート・ガバナンス論などの領域。特に、資生堂在職時に日本企業で初となる企業倫理活動を立ち上げ、その後、大学でマーケティングと経営倫理の理論と実務を融合させ「マーケティング倫理」を構築、その研究領域では、日本での第一人者である。現在はCSR論、BOPビジネスの研究に取り組む。